

ARCUS

Artist In Residence - IBARAKI

現在のアート・芸術文化を守谷から。

- 問合先 アーカススタジオ (もりや学びの里内)
日・月曜日休館 ☎ 46-2600 (10:00 ~ 18:00)
✉ arcus@arcus-project.com
◎ 詳細な情報はアーカスプロジェクトで検索!



市役所にて

レジデンスプログラムの招
へいアーティストが来日して
から1カ月半が経ちました。日
本の秋を満喫しながら制作に
精力的に取り組んでいます。

アーカスプロジェクトでは、トルコの伝統的なモンスターと『百鬼夜行』などに出てくる日本の妖怪についてリサーチします。
表象の方法論において、いかに他者が「モンスター」のように恐ろしいものとして描かれ、流通されてきたかに焦点を当てます。

夏は、私が育ったワシントンD.C. 郊外を思い起こさせました。世界で初めて遺伝子組み換えによる蚕の開発に成功した農研機構(つくば市)を訪れ、養蚕業の歴史を学び、そのリサーチ成果を高性能の織物の制作に生かしたいと思っています。

アーカスプロジェクトでは、地元の方や専門家との会話を通して、地球と人間がコミュニケーションする方法について探求します。私は日本語を話さないのに、会話には手や足を使ったジェスチャーが含まれるでしょう。こういった身振りも作品の中に取り入れていきたいです。

※詳しいイベント情報は、公式ホームページまたは広報もりやお知らせ版10月25日号で紹介いたします。

オープンングレセプションで出会った守谷の素敵な温かい方たちは、私のリサーチに興味を持ってくださり、彼らのホスピタリティを感じる事ができました。守谷での生活に、とてもわくわくしています。

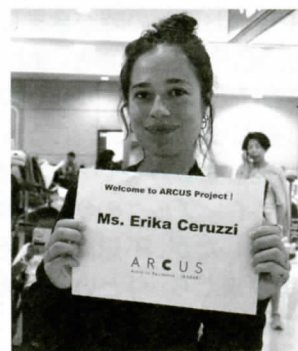
廃校を活用したもりや学びの里にあるアーカススタジオは、私が経験したことのない典型的な日本の小学校のデザインで興味深いです。また、夏の蒸し暑さとセミの声は、私が育ったワシントンD.C. 郊外を思い起こさせました。

私は、人間の体と地球の「体」をつなげ、対話を築くことに関心があります。オランダに比べて日本では地球の活動を、より強く感じる事ができます。

アーティストたちの滞在制作の成果を発表するオープンスタジオを今年も開催します。彼らの制作の拠点である、アートの特設家によるツアー、恒例のキッズツアーなど文化の秋を楽しむさまざまなイベントを用意しています。お誘い合わせの上、ご来場ください。



ジハド・ジャーネル
(トルコ)



エリカ・セルジ
(米国)



イリカ・ファン・ローン
(オランダ)



ゲストキュレーターとのミーティング

オープンスタジオ
開催日決定!